

振興の方向性 1 : かごしまの地域資源・特性を生かした産業の活性化

豊かな農林水産資源等の「素材」を生かして本市商工業の競争力を高めるとともに、地域資源やアジアとの近接性などの特性を生かして、国内外との「交流」、「観光」の促進を通じた産業の活性化やアジアを中心とした海外との取引強化に取り組みます。

〔成果指標〕

指標	基準値	目標値	実績値	対目標値
食料品製造業における粗付加価値額 (従業者4人以上)	H20工業統計調査 46,232百万円	令和3年度 49,600百万円	令和3年度 46,186百万円	93.1%
海外の見本市等への延べ出展事業者数	平成21年度 58社	令和3年度 68社	13社 累計456社 (41.5社/年)	19.1%

〔基本方針・推進施策とその評価状況〕

		評価状況 (R3)				
		事業数計	◎	○	△	—
1 かごしまの農林水産資源等の素材を生かした産業振興	(1) ブランド力の強化に向けた取組みの推進	35	6	15	1	13
	(2) 農商工等連携の促進					
	(3) 自然資源を生かしたビジネスの促進					
	(4) 新製品開発・付加価値向上・販路拡大の促進					
	(5) 地産地消の推進					
	(6) 食関連分野の企業立地推進					
2 国内外との「交流」、「観光」を生かした産業の活性化	(1) 観光振興に関する計画の推進	26	8	14	2	2
	(2) 観光客等のニーズに対応した商品・サービスの充実					
	(3) 都市間連携による企業活動の活性化					
	(4) 姉妹都市等とのつながりを生かした交流の推進					
3 アジアへの近接性などを生かした「海外取引」の強化	(1) 海外への販路拡大の促進	38	17	14	0	7
	(2) 海外取引に関する支援機能の充実					
	(3) 貿易・流通関連基盤の整備促進					
	(4) 鹿児島港の利用促進					

〔主な取組内容〕

<ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発等に対する支援 ・大学等と企業の共同研究開発に向けたマッチング機会の提供 ・グリーンツーリズムなど新たな観光ビジネスの創出・促進 ・海外の見本市等への出展支援
--

〔成果指標や具体的な取組を踏まえた方向性と全体の評価〕

<p>成果指標の「食料品製造業における粗付加価値額」は、目標値を下回った。これは食料品製造業における製造品出荷額等が減少傾向にあることから、同業における粗付加価値額も減少しているためであると考え。今後も中小企業者（製造業者等）の経営力の強化や製品等の販路拡大の支援を引き続き、進めていく必要がある。</p> <p>「海外の見本市等への延べ出展事業者数」については、令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により減少した。アフターコロナを見据え、今後も関係機関と連携しながら、中小企業者の海外への販路拡大に向けた取組への支援が必要であると考え。</p>	<table border="1"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B
評価			
B			

◎：十分に達成された（100%以上）
○：概ね達成された（70%以上）
△：あまり達成されなかった（70%未満）
—：R3の実施事業なし

A：十分に達成されている 成果指標の実績値の対目標値が概ね90%以上
B：概ね達成されている A以外で、成果指標の実績値の対目標値が概ね70%以上
C：あまり達成されていない A、Bを除くもの

振興の方向性 2 : かごしまの将来を牽引する新たな産業の創出

食品加工に関する技術の蓄積や集積する学術・研究機関等の存在、国の新成長戦略などを踏まえ、産学官の多様な連携・協働を促進しながら、「環境」、「健康」などの成長分野に関連する新産業の創出に取り組みます。

〔成果指標〕

指標	基準値	目標値	実績値	対目標値
産学連携等により製品・商品化された件数	平成19～22年度 14件 (3.5件/年)	平成23～令和3年度 88件 (8件/年)	4件 累計69件 (6.3件/年)	78.4%
トライアル発注制度認定件数 (鹿児島市内業者件数)	平成20～22年度 14件 (4.6件/年)	平成23～令和3年度 66件 (6件/年)	2件 累計42件 (3.8件/年)	63.6%

〔基本方針・推進施策とその評価状況〕

		評価状況 (R3)				
		事業数計	◎	○	△	—
1 「環境」、「健康」などの成長分野に関連する新産業創出	(1) 新産業創出に向けた取組みの推進	7	0	5	0	2
	(2) 成長分野における事業者の取組みの促進					
	(3) 成長分野におけるベンチャー企業等の育成					
	(4) 成長分野に関連する企業立地推進					
2 新産業創出のための「多様な連携」の強化	(1) 産学官連携体制の強化	3	0	1	0	2
	(2) 企業間連携による研究開発の促進					
	(3) ビジネスマッチング機能の強化					

〔主な取組内容〕

<ul style="list-style-type: none"> ・販路拡大への支援 ・ベンチャー企業等の取組みへの支援 ・ビジネスマッチングに係るコーディネート機能の充実

〔成果指標や具体的な取組を踏まえた方向性と全体の評価〕

<p>産学連携等により製品・商品化された件数は近年増加傾向にあり、一定確率で「研究開発」から「商品化、事業化」へと移行して来ていると考えている。</p> <p>鹿児島県トライアル発注制度の対象製品等は、目標値を下回っているが、県の機関が調達している品目、又は用途が見込まれる品目であることを要件に含まれることが要因の一つと考えられる。認定された本市中小企業者の製品等について、市庁舎内で展示会を開催してきており、今後も同展示会を継続することで、本市による発注の促進を図るとともに、市民等への製品のPRを行い、本市中小企業の新製品・新技術の受注機会の拡大を図る必要があるものとする。</p>	<table border="1"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B
評価			
B			

◎ : 十分に達成された (100%以上)
 ○ : 概ね達成された (70%以上)
 △ : あまり達成されなかった (70%未満)
 — : R3の実施事業なし

A : 十分に達成されている
 成果指標の実績値の対目標値が概ね90%以上
 B : 概ね達成されている
 A以外で、成果指標の実績値の対目標値が概ね70%以上
 C : あまり達成されていない
 A、Bを除くもの

振興の方向性3：かごしまを支える産業の成長促進

社会経済情勢の変化による消費動向の変化やニーズの多様化に対応し、本市商工業の中核をなす商業・サービス業の活性化を図るとともに、伝統産業の事業革新等による活性化や都市機能の集積などのポテンシャルを生かした産業の振興に取り組みます。

〔成果指標〕

指標	基準値	目標値	実績値	対目標値
卸売業・小売業の年間商品販売額	H19商業統計 2,536,515百万円	令和3年 2,540,000百万円	R3経済センサス 〔活動調査〕 2,221,043百万円	87.4%
製造品出荷額等 (従業者4人以上)	H20工業統計調査 378,471百万円	令和3年 400,000百万円	R3経済センサス 〔活動調査〕 338,743百万円	84.7%
企業立地件数	平成20～22年度 10件(3.3件/年)	平成23～令和3年度 78件(7件/年)	7件 累計78件 (7.1件/年)	100.0%

〔基本方針・推進施策とその評価状況〕

		評価状況 (R3)				
		事業数計	◎	○	△	—
1 地域の特性やニーズに対応した商業・サービス業の活性化	(1) 「中心市街地活性化基本計画」の推進	27	4	13	0	10
	(2) 地域に根ざした商店街づくりの促進					
	(3) 魅力ある個店づくりの促進					
	(4) 商業・サービス業に関する情報発信の充実					
	(5) ソーシャルビジネス等の成長促進					
2 事業革新等による「モノづくり」、「伝統産業」の活性化	(1) 製品の高付加価値化の促進	20	3	12	1	4
	(2) 製品の販路拡大の促進					
	(3) 企業間連携による研究開発の促進					
	(4) 先端技術分野における連携強化					
	(5) 事業拡張・事業革新の促進					
3 都市機能の集積を生かした産業の振興	(1) 知識集約型産業等の育成支援	4	1	2	0	1
	(2) 都市機能の集積を生かした企業立地推進					

〔主な取組内容〕

<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の繁盛店づくりのためのセミナーの開催や講師等の派遣 ・ ICTを活用した販路拡大への取組みに対する支援 ・ 製品の高付加価値化の取組みへの支援 ・ 立地推進体制の充実
--

〔成果指標や具体的な取組を踏まえた方向性と全体の評価〕

<p>「卸売業・小売業の年間商品販売額」、「製造品出荷額等」はともに目標値を下回っており、卸売業、小売業の事業所数の減少等によるものと考えられる。今後も引き続き、地域経済の中核をなす商業・サービス業の活性化のための各種施策の実施や製品等の販路拡大の取組みの支援が必要であると考えます。</p>	<table border="1"> <tr> <th>評価</th> </tr> <tr> <td>A</td> </tr> </table>	評価	A
評価			
A			

◎：十分に達成された（100%以上）
 ○：概ね達成された（70%以上）
 △：あまり達成されなかった（70%未満）
 —：R3の実施事業なし

A：十分に達成されている
 成果指標の実績値の対目標値が概ね90%以上
 B：概ね達成されている
 A以外で、成果指標の実績値の対目標値が概ね70%以上
 C：あまり達成されていない
 A、Bを除くもの

振興の方向性 4 : かごしまの将来を担う企業・人材の育成

事業者が抱える課題の解決を図り、刻々と変化する社会経済情勢に対応するため、関係機関のネットワークを強化して、企業経営の安定と革新を支援するとともに、新たなチャレンジへの支援と人材の育成・確保に取り組みます。

〔成果指標〕

指標	基準値	目標値	実績値	対目標値
事業所数（民営） ※農林漁業を除く	H18事業所・企業統計 29,057事業所	令和3年 30,000事業所	R3経済センサス 〔活動調査〕 26,505事業所	88.4%
従業者数（民営） ※農林漁業を除く	H18事業所・企業統計 257,941人	令和3年 283,000人	R3経済センサス 〔活動調査〕 273,440人	96.6%

〔基本方針・推進施策とその評価状況〕

		評価状況（R3）				
		事業数計	◎	○	△	—
1 企業経営の「安定と確信」	(1) 中小企業の経営基盤の強化	58	10	35	0	13
	(2) 事業承継等の円滑化					
	(3) 知的財産の保護・活用の促進					
	(4) ICT導入等による生産性向上の促進					
2 関係機関の「ネットワーク」の強化	(1) 関係機関の情報共有の促進	9	2	5	0	2
	(2) 関係機関の連携による取組みの強化					
3 「チャレンジ」への支援と「人材」の育成・確保	(1) インキュベーションの促進	53	12	31	1	9
	(2) 企業が求める人材の育成					
	(3) 市内企業への就労促進					

〔主な取組内容〕

<ul style="list-style-type: none"> ・事業者のマーケティング力の強化に向けた支援の充実 ・事業承継に関する支援 ・関係機関との連携による総合的な情報提供の充実 ・起業への支援
--

〔成果指標や具体的な取組を踏まえた方向性と全体の評価〕

<p>事業者数、従業者数ともに、減少傾向にあり、人口減少・少子高齢化のもと、この減少傾向が今後も続くことが予想される。今後も引き続き、中小企業の経営安定や経営基盤の強化、新規創業の支援のほか、企業が求める人材のマッチングや若者・女性・高齢者及びU I J ターン希望者の就労促進への取組みが必要であると考えられる。</p>

評価

B

◎：十分に達成された（100%以上）
○：概ね達成された（70%以上）
△：あまり達成されなかった（70%未満）
—：R3の実施事業なし

A：十分に達成されている
成果指標の実績値の対目標値が概ね90%以上
B：概ね達成されている
A以外で、成果指標の実績値の対目標値が概ね70%以上
C：あまり達成されていない
A、Bを除くもの